かさま 社協だより No.45

編集・発行 2021.8.19

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会　笠間市美原3-2-11　TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp　URL https://www.kasama-syakyo.jp/

サロンもとど（本戸）　　撮影　畠山

もくじ

1 令和２年度 社協事業報告および決算報告…… 2～3
2 社会福祉協議会役員の改選 …… 4
3 サロンもとど開設・五平ふれあいサロン一周年 …… 5
4 ボランティアセンターだより …… 6～7
5 支部・地区社協運営委員が決まりました
支部・地区社協運営委員会開催・ちょっといい話 …… 8
6 善意銀行 …… 9
7 インフォメーション …… 10

この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

令和２年度

社協事業報告および決算報告

法人運営事業

★理事会・評議員会の開催及び監査の実施

理事会は法人の経営方針を決定し、評議員会は理事とは異なる立場から意見を述べる機関。

★広報委員会の開催

「かさま社協だより」の発行に向けて開催。

★社協会員（一般・特別・法人）の加入推進

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進するため会員を募集。

地域福祉事業

★支部・地区社協活動推進事業

小学校区、行政区、公民館を単位として支部・地区社協（27カ所）を設置。「向こう三軒両隣り」の助け合い体制づくりを推進し、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指す。

★第８回笠間市社会福祉大会

永年にわたり社会福祉に貢献された６団体と個人26人へ表彰状・感謝状を贈呈。
※コロナのため中止

★低所得者福祉事業

①小口資金貸付事業

生活困窮者に対して、緊急的に必要とする生活費を貸付。

②生活福祉資金貸付事業

安定した生活が送れるように資金を貸付（県社協にて審査）。
また新型コロナウイルスの影響で失業や減収した世帯へ生活費を貸付（延９３８件）。

③フードバンク

ＮＰＯ法人フードバンク茨城及びカスミフードスクエア友部店の協力を得て、生活に困っている方へ食料品などを配布。また「きずなＢＯＸ」を市内７カ所に設置。

④ひきこもりサロン

ひきこもり状態にある方や家族等への居場所を提供。

★心配ごと相談所の運営

日常生活の困りごとや問題解決に向けたアドバイスを行い、専門性が高い場合には弁護士による法律相談を実施。

★ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談、支援、登録、情報収集及び提供など。

ボランティア募集中

★共同募金配分事業

子どもや高齢者、障がいのある方をはじめ、支援を必要とする方々への支援。

★善意銀行の運営

皆さまから善意の金品をお預かりし、地域福祉活動や福祉団体へ助成するなど、福祉の充実に向けて活用。

★福祉バス

福祉関係団体などが研修に活用し、より効果的な事業運営を推進。
※コロナのため中止

★コロナ支援事業

①シトラスリボンプロジェクトinかさま

コロナによる差別や偏見をなくすため、市内の高校２校、ボランティアの協力を得てシトラスリボンを作成し配布。

②感染予防対策応援事業

コミュニティサロンや子ども食堂等の団体へ非接触型体温計を支給。

③社協版 KASAMABOX の支援

コロナによる生活困窮世帯に対して、食料品を支給。
※②③は、県共同募金会地域福祉特別助成を活用。

受託事業

★地域ケアシステム推進事業

高齢者や障がい者などが、住み慣れた地域で安心して暮らせるように地域住民、医療、保健、福祉の関係者でチームをつくり日常生活を支援。

★日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などを対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理などを支援。

★**生活困窮者自立相談支援事業**
経済的に困窮している方が抱える様々な問題に対応し、自立した生活を営めるように支援。

★**在宅福祉サービス事業**
高齢者や障がい者、子育て世帯が安心して生活できるように、サービス（家事支援・移送サービス・子育てサポート）を提供する住民の参加と協力による会員制の有償サービス。

★**在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業**
重度身体障がい者などを対象に、身体の清潔保持、心身機能の維持向上を図るため、自宅に浴槽を搬入して入浴サービスを提供。

★**移動支援事業**
障がい者などを対象に、社会参加のため外出時にヘルパーを派遣し、安全に移動できるように支援。

★**手話奉仕員養成講座**
日常会話で必要な手話表現技術を習得し、聴覚障がい者などが自立した生活を営むことができるように支援。
※コロナのため中止。

★**わけがありますくPR事業**
皮膚炎や感覚過敏、呼吸器の病気等でマスクを着けられない方への理解を深め、差別的な行動をなくすための啓発活動。

指定管理業務事業

★**地域福祉センター事業の経営**
地域福祉センター「ともべ（A館・B館）」・「いわま」の経営。

就労継続支援事業

★**障害者就労継続支援B型事業**
心身障がい者が通所により、社会訓練や作業訓練を行う福祉的就労の場を提供。

介護予防・日常生活支援総合事業

★**通所型サービス「いきいき通所事業」**
高齢者の生きがいづくりと介護予防を目的として、専門性及び身体介護を伴わない通所型サービスを提供。

★**訪問型サービス「ふれあいサポート事業」**
身体介護を含まない生活支援を行い、安心して日常生活を過ごすことができるように支援。

★**生活支援体制整備事業**
医療・介護の専門的なサービスのみではなく、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加を推進。

介護保険事業・障害者自立支援事業

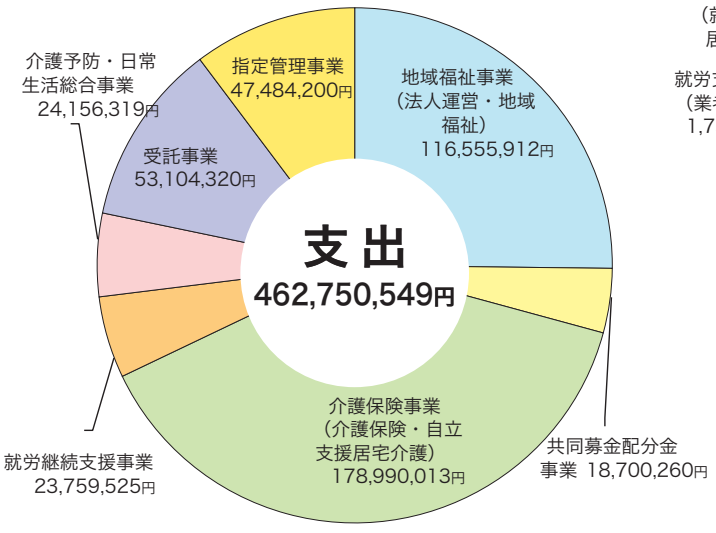
★**居宅介護支援事業**

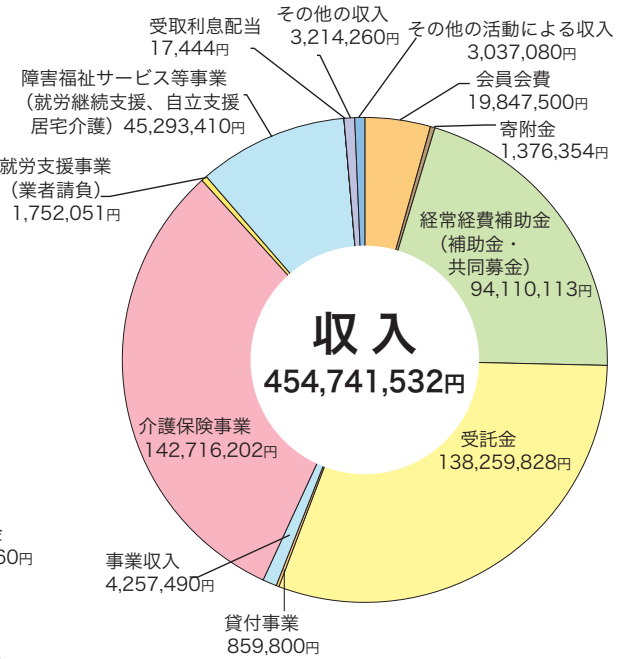
★**訪問介護事業**

★**訪問入浴介護事業**
介護認定を受けている方に、ケアプランの作成、訪問介護、訪問入浴のサービスを提供。

★**自立支援居宅介護事業**
障がいのある方に、ヘルパーによる身体・家事などのサービスを提供。

令和２年度　収支決算報告





※単年度の決算報告となっています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

誰もが安心して暮らせる地域社会
～みんなでつくる福祉のまち～

理事・監事・評議員決まる

令和3年6月23日の評議員会において、理事10人、監事2人が選任され、その後の理事会において会長、副会長が選出されました。
なお、新たな理事の任期は令和3年6月23日～令和5年6月開催の定時評議員会終結までとなっています。

会　長
鷹松　丈人

このたび、令和3年6月23日付をもちまして、笠間市社会福祉協議会会長として就任いたしました。

平素から市民の皆さまには、笠間市社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げる次第でございます。

昨年度は、新型コロナウイルスにより、本会事業やサービスに様々な縮小と制限を受けることになりました。

従来からの少子・高齢社会のいっそうの進行や、まだまだ安心のできない感染症拡大の影響など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化をしております。

今年度は、第3次笠間市地域福祉活動計画の2年目であり、本計画を着実に実行し個別の生活を応援・支援する活動に力点を置き、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進するものでございます。

今後も役職員一丸となり、地域福祉の向上に鋭意努力してまいりますので、地域の皆さまをはじめ、企業・事業所の皆さま方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

副会長
友水　邦彦

このたび、笠間市社会福祉協議会副会長に選出いただきました友水と申します。その重責に身の引き締まる思いであります。

昨年から続いております新型コロナウイルスの感染拡大は、世界の経済に打撃を与え、あらゆるものを巻き込んでいます。地域環境が激変する中で、人と人とのつながりの希薄化や孤立化、引きこもりや貧困問題、さらには身寄りのない人の財産管理や介護の問題といった複雑・困難な課題が顕在化してきました。このような、諸問題を解決する中心の組織が、社会福祉協議会であると思います。「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、微力ながら職責を果たしてまいります。

地域の皆さんをはじめ事業所の皆さんの今後ともご支援を賜りますようお願いします。

理事

氏名	選出区分
仲田　大作	福祉施設
小室　和子	ボランティア
鷹松　丈人	学識経験者
友水　邦彦	学識経験者
青木　清	区長会
常井　滋	民生委員・児童委員
髙橋　一夫	支部・地区社協
鈴木　早苗	高齢者クラブ
大関　久義	笠間市議会
下条かをる	行政関係者

監事

川井　健一	社会福祉事業について識見を有する者
青木　和子	財務管理について識見を有する者

評議員

根本　玄	福祉施設
川澄　清子	ボランティア

苦情解決第三者委員

大月　裕美	学識経験者
小沼　弘行	学識経験者
川﨑　幸良	区長会
鈴木　進一	民生委員・児童委員
大垣　茂	支部・地区社協
小松崎　進	身体障害者福祉協会
栗林　敏子	介護者の会
藤枝　泰文	人権擁護委員協議会
安見　貴志	笠間市議会
堀内　信彦	行政関係者

評議員選任・解任委員

大関　利久	
藤田　嘉昭	
鈴木　利通	
川井　健一	
石田　俊夫	
橋本由合子	
海老澤清美	

4月開設

サロン もとど

代表　本田 君江

4月に「サロンもとど」を開設しました。周囲を山々に囲まれた本戸、その中でも高台にある本戸公民館に集まっています。公民館では、数年前から介護予防のためシルバーリハビリ体操を月2回開催していました。昨年春から初夏にかけて、新型コロナ感染症流行のため体操が休止になっていたときに、体操参加者から「サロンが出来ると良いね」という言葉がありました。現在の高齢者の生活は、世帯人数も少なく高齢者のみの世帯も多い中で、不安を抱えているのではないか、サロン開設によって外からの風（多くのボランティア）を呼び込み楽しみの場になればと思いました。

スクエアステップ

お手玉を使って

今年1月からの外出自粛要請に翻弄されながらも、サロン運営委員4人で話し合い開設に漕ぎ着けたところです。みんなのサロンなので、参加者みんなの意見を聞きながら大事にしていきたいと思います。今後ともご協力をお願いします。

五平ふれあいサロン一周年

サロン開設初年度を終わって

代表　菱沼 征一

笠間市内では後発組の「五平ふれあいサロン」もコロナ禍の中でしたが、一年を経過しこの度、二年目のスタートにあたり、設立時の行政区長さんを始め、推進メンバーにお集まりを頂き、サロン運営へのご意見・ご要望を伺う報告会（総会）を開催しました。

事業報告では、コロナ禍による開催自粛の判断、多人数参加による三密回避等の苦労話が、会計報告では、初年度限りの助成金等があり、初期投資の備品購入も予算内で済んだことが報告されました。

引き続き新年度の運営は、7人の運営委員を中心に参加者からのご意見を参考に月替わりのメニューの作成をすることになりました。

予算については行政区への助成金の要望は今後の検討課題となり、社協からの助成金・参加者会費を基に組むこととしました。

「五平ふれあいサロン」は行政区長さんを始め、地域内各種団体代表者・有識者を中心に運営されることを確認し、閉会されました。

センターだより
くりを目指して

「第一火曜日の会」では、「手提げづくり」と「『人生100年時代の終活とは』の講演会」を地域福祉センターともべと笠間支所で行いました。

稲田中学校では疑似シニア体験・手話などを、みなみ学園では車いす・疑似シニア体験の「福祉体験」が行われました。

手話奉仕員・読み聞かせボランティア・点字ボランティアの各養成講座が始まりました。

笠間市ボランティア連絡協議会総会が岩間支所で行われ、新役員が選出されました。

「第一火曜日の会」

4/6（火）
フエルト生地で
手提げづくり
地域福祉センターともべ 19人参加
笠間支所 10人参加

笠間支所

地域福祉センターともべ

講師は昨年度ゆび編みマットづくりから「あむあむサークル」として活動をはじめた4人のボランティア

7/6（火）
「人生100年時代の終活とは」
講師 水戸証券㈱ウェルスマネージメント
地域福祉センターともべ 18人参加

「終活」を実施して、生き甲斐を！

澤田　實（81）

人生百年時代の終活の４つのポイント、生前整理、遺言書、エンディングノート、葬儀・お墓等、多岐にわたり盛り沢山の講義でした。

相続トラブルが五千万円以下が八割で、兄弟姉妹仲がいいから大丈夫と思うのはとんでもない事で、「争族」になりがち。延命治療の有る無し、葬儀の規模や遺影などで喪主がバタバタするのを垣間見る。

講義後の質疑応答も熱が入って

何はともあれ、人間は必ず死ぬ。自分なりの死生観を確立して、今日何をすべきか、何を目指すか。得意なもの、好きなこと、他者に喜ばれることの生き甲斐を探求したいですね。自分なりの生きる証しを！　それには終活を実施して、妻や子供達の相続人と「分かつ」事が出来れば、悩みやストレス、不安が半減し、元気潑剌。今年はやるぞー、終活を！

支援よろしく社協さん。相談しましょう皆さんも。

福祉体験

友部・岩間・笠間の小・中学校を対象に、福祉体験を行いました。今回は笠間を取り上げました。

6/3（木）
稲田中学校
3年生 34人参加

市内の保健福祉施設職員の方々を講師として車いす・擬似シニア体験を行いました。

さしろ手話ボランティアサークルの皆さんが手話を、個人ボランティアが点字を担当しました。

6/29（火）
みなみ学園
6年生 25人参加

車いす、疑似シニア体験を行い、身体の不自由な方の日常を思いやることができました。

避難所体験 友援の会協力参加

6/26（土）
笠間市民体育館

三角布の使い方を学ぶ

―あなたの身に起こるのは明日かもしれません―

ボランティアサークル友援の会が、青年会議所主催の、「避難所体験」に協力参加しました。

当日は笠間市内の小学生その保護者の方120人が体験しました。

参加記念品として防災グッズ・非常食カレーが配られました。

思いやりあふれた福祉作文

令和２年度

令和２年度　福祉作文集

市内の各市役所、公民館
図書館、銀行等に展示

「福祉作文」は、市内の小・中・高校生を対象に、福祉教育を推進するため、思いやりの心を育み、児童生徒や住民へ福祉の理解が深まることを目的として、作文を募集し作文集を毎年発行しています。

ボランティア 住みよいまちづ

新役員（笠間支所）

令和3年度 新たな役員で

5月26日（水）笠間市ボランティア連絡協議会総会が岩間支所で開催されました。

協議会の役員は、各支部の会長・副会長・会計で構成されています。また互選により、役員改選も行われ、本年度は笠間支部が担当となりました。

笠間市ボランティア連絡協議会役員

任期 令和3年6月～2年間

会長　小室　和子（笠間）
副会長　川澄　清子（友部）
〃　強口　玄子（岩間）
会計　飯田　一江（笠間）

●岩間支部総会　4月16日

会長　強口　玄子（つむぎの会）
副会長　堀川　泰三（イベント協力隊）
〃　渡辺　美子（あたご手話）
会計　木村　実（四つ葉のクローバー）

●友部支部総会　4月19日

会長　川澄　清子（旭フレッシュ健康体操の会）
副会長　安達　武雄（きんもくの会）
〃　山本　信子（喫茶やすらぎ）
会計　小菅　栄子（ナマステの会）

●笠間支部総会　5月17日

会長　小室　和子（ハートレインボー）
副会長　大嶋　悦子（ひめはる）
〃　川松美佐子（レクリエーション）
会計　飯田　一江（秋桜）

点字ボランティア養成講座

R3 7/14～R4 1/12　全12回

初日は点字盤の使い方から

点字を基礎から易しく丁寧に教わることができます。また点字だけでなく、視覚障がいのある方への理解や点訳ボランティアについても学べます。

地域福祉センターともべで、7月14日から毎月第2・第4水曜日です。

講師は点訳ボランティア三六（みろく）の会代表太田寛子さんです。

読み聞かせボランティア養成講座

R3 6/17～R4 3/17　全10回

読み聞かせの基礎を楽しみながら学べる講座です。

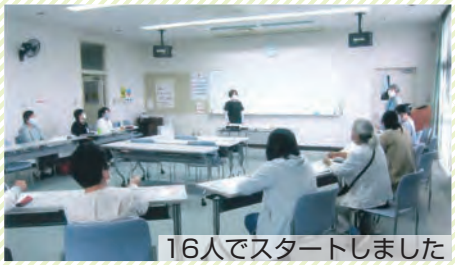
地域福祉センターともべで、6月17日から毎月第3木曜日開催です。

大きなはっきりした声が出せるように、準備体操をしてから始めます。

講師はフリーアナウンサー高信佳子さんです。

手話奉仕員養成講座

R3 5/18～R5 3/7　全40回



16人でスタートしました

日常会話に必要な手話表現の技術を習得して、聴覚障がい者のサポートをしたり、交流活動を目指して令和3年度の講座がはじまりました。

地域福祉センターともべで、5月18日から毎月第1・第3火曜日、2年間の講座です。

講師は茨城県登録手話通訳者小峰利恵子先生・茨城県聴覚障害者協会会員山中久子先生です。

ボランティア講座からサークル活動に

すいよう会代表　横須賀　光男

私たちのサークル「すいよう会」は、平成29年度社会福祉協議会主催の男の料理講座（平成30年2月、全5回）に参加、修了者からなる6人の会です。

講座修了後、毎月一回水曜日に、岩間地区の「いきいき通所事業」利用者のお弁当を、栄養士の指導のもとに、25～30食程度作っております。

4年目となる4月より、正式に笠間市ボランティアサークルとなりました。だいぶ料理の手順等も覚えて、少人数のサークルですが、皆楽しく行っております。

今日は天ぷらを作りました

支部・地区社協運営委員が決まりました

〈敬称略〉

【笠間地区】

支部・地区名	役　職	氏　名
上加賀田支部「まなだけ会」	会　長	富田哲夫
大橋支部	運営委員長	森　和以
来栖支部「四つ輪の会」	会　長	足立雅幸
寺崎支部「しんこう会」	会　長	川俣昌広
箱田支部（ふれあい会）	会　長	大月弘之
下市毛(15区)地区	運営委員長	大波誠一
13区社会福祉協議会「さかえ会」	運営委員長	古木　滋
高田支部	運営委員長	塚本正三
稲田支部「みかげ会」	支部長	髙橋一夫
池野辺支部	支部長	井口　清
福原支部	支部長	深谷敏知
安心ネットワーク柏(20区)	運営委員長	久保田　明

【友部地区】

支部名	役　職	氏　名
宍戸	支部長	雨谷高市
東	支部長	鈴木義雄
中央	支部長	荒張晴夫
大旭	支部長	大垣　茂
北川根	支部長	鈴木　裕
大原	支部長	高柿義孝

【岩間地区】

地区名	役　職	氏　名
上押辺	運営委員長	山辺充央
吉岡2	運営委員長	神　衛
下安居	運営委員長	軽部はるみ
土師	運営委員長	打越久勝
南部	運営委員長	小松昭一
安居東部	運営委員長	齊藤俊秀
新渡戸	運営委員長	鈴木一彦
参り坂	運営委員長	藤田繁好
岩間西部	運営委員長	生駒敏文

支部・地区社協運営委員会

笠間市社会福祉協議会では、支部・地区社協の円滑な運営を図ることを目的に、各地区それぞれで運営委員会を開催しています。

令和3年度第一回運営委員会を5月27日友部地区、6月25日岩間地区、6月30日笠間地区で開催しました。

昨年の活動報告や令和3年度の事業計画などを確認し、終了後には、茨城県衛生研究所の永田紀子主任研究員をお招きし、新型コロナウイルス感染対策について勉強しました。

講話は、基本的な新型コロナウイルスについてから始まり、ワクチンのことなどをわかりやすく丁寧に話してくださいました。一番の予防としては①手洗い②マスクの着用③ソーシャルディスタンスが大切とのことでした。また、当日の講話の内容を、ボランティアサークル映町会の皆さんが録画をしてくれたので、今後サロンや、ボランティアサークルなどにもお伝えできればと思っています。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により支部・地区活動が制限されました。委員会の中では、今年こそ、バザーや支部事業を実施していきたいと力強い声が聞かれました。まだまだ心配なことも多いですが、感染予防をしっかり行い安心して活動できるようにしていきたいと思っています。

ちょっといい話

笠間市のコロナワクチン接種状況において64歳以下向けも行われていますが、スマホを使いこなしている世代は、SNS等で情報を得ている方も多くいるようです。

ですが、それは**医学的にエビデンス（根拠）のある正しい情報**でしょうか？副反応の例ばかり気にしていませんか。**プラセボ※と逆のノセボ効果**もあり得ます。また、真偽を確かめず**デマやフェイクニュース**などを鵜呑みにしてはいませんか？

最終的には各々の責任に基づく判断ですが、**ワクチンは集団免疫や医療体制など社会にも影響**します。また、**変異株は若年層の重篤化するリスクが高い**と言われています。

ネットは便利でももろ刃の剣となり得ます。不安や迷いがあるのなら、左記に問い合わせて冷静に判断しましょう。（入江）

厚労省新型コロナワクチンコールセンター
0120・761770

※「プラセボ（偽薬）」効果とは、効き目のある薬を服用していると思い込むことで、病気がよくなることがあること。

善意の寄附を「ありがとう!!」（善意銀行預託）

令和３年３月１日～令和３年６月30日まで（順不同・敬称略）

物　品

エコキャップ・使用済み切手・食品・日用品など

赤沢三男
佐藤あゆみ
中村浩一
成田安史
橋本文知
ありんこ
HappyCoumunityまあやの庭
(有)飯田自動車
(有)伊藤石材工業
岡本興業(株)
(株)ＤＣＬ
(株)ダイナム
関鉄水戸タクシー(株)
常陽銀行友部支店
千波鐵工(株)
第一生命保険(株)
泰栄電器(株)
(有)鉾田製材所
真知美容室
明治安田生命笠間営業所
県立笠間高等学校ＪＲＣ部
県立友部高等学校
友部第二中学校
岩間第一小学校
県立友部東特別支援学校
岩間第一小児童クラブ
みなみ学園児童クラブ
友部小児童クラブ
大沢保育園
ひまわり保育園
みか保育園
大成学園いなだこども園
こじか幼稚園
さくら幼稚園
ともべ幼稚園
笠間市役所
大沢中３区
ガールスカウト茨城県第３０団
更生保護女性会友部支部
手をつなぐ育成会
土師地区社会福祉協議会
原宿会
富士子供会
愛の里
医師会訪問看護ステーション　ふきのとう
ケアホーム夢くらぶ
県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
(福)木犀会ひまわり館
笠間郵便局
匿名（3件）
※その他記念切手、記念硬貨などの寄付もいただきました。

金　銭

田口正夫	619
ナマステの会	20,000
バザー夢工房	100,000
(有)飯田自動車	14,076
県庁ＯＢ笠間会	26,752
美空子供会	1,787
匿名（6件）	218,649

～善意銀行の使われ方（ご報告）～

皆さまから善意の金品をお預かりし、地域福祉活動や福祉団体へ助成するなど、福祉の充実に向けて大切に活用させていただきました。

エコキャップ運動

ペットボトルのキャップで世界の子どもたちにワクチンを贈ろう！

キャップ回収 → 再資源化業者へ売却 ※収益を寄付 → 世界の子供にワクチンを日本委員会へ

＜令和２年度の実績＞

〇キャップ重量　：　2,502kg

〇キャップ個数　：　1,178,200個

〇ポリオワクチン：　1,251人分

※キャップ860個で1人の子どもの命が救えます。

金銭預託

令和２年度

預託金：**1,376,354**円（合計30件）

車輌リース料　5台分　**1,403,514** 円

（地域福祉事業、配食サービス、ふれあいサポート、地域ケアで使用）

火災による見舞金支給（1件10,000円）　**50,000** 円

新入学児童祝金へ上乗せ支給（1人6,000円）　**138,000** 円

遺児養育手当へ上乗せ支給（1人6,000円）　**174,000** 円

払出合計　**1,765,514** 円

※払出の不足分（389,160円）は、前年度繰越金より充当しました。

インフォメーション information

いきいき通所事業利用者“募集”

笠間市社会福祉協議会では、いきいき通所事業の利用者を募集しています。

この事業は、ひとり暮らしや外出する機会が少ない高齢者を対象にレクリエーションや趣味活動などのサービスを提供し、要介護状態への進行を予防することを目的としています。

専門性及び身体介護を伴わない通所型のサービスです。

「たくさん笑ったり」「体を動かしたり」「お話ししたり」「歌ったり」「作ったり」
皆さんと楽しい時間を過ごしてみませんか。

《利用できる方》・要支援１・２認定者
・６５歳以上の基本チェックリストにより要支援者に該当する状態の方

○利用料金

負担割合	送迎あり	送迎なし
１割負担	256 円	205 円
２割負担	511 円	410 円
３割負担	767 円	615 円

※昼食費(400円～430円)は実費負担となります。

○サービス提供場所・時間等

地　区	サービス提供場所
友　部	地域福祉センターともべＡ館
岩　間	地域福祉センターいわま
笠　間	大橋・箱田・稲田・みなみ公民館

※火曜日～金曜日　午前 10 時～午後３時

利用を希望する方は下記へお問い合わせください。
本　所（TEL.0296-77-0730）　岩間支所（TEL.0299-45-7889）　笠間支所（TEL.0296-73-0084）

心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください（無料・秘密保持）

時間：13:00～16:00（受付は15:30までにお願いします）

場所／月	社協笠間支所 [第2・4火曜日]	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日]	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日]
	TEL 0296-73-0084	TEL 0296-77-0730	TEL 0299-45-7889
9月	14日・28日	8日・22日	2日・16日
10月	12日・26日	13日・27日	7日・21日
11月	9日	10日・24日	4日・18日
12月	14日	8日・22日	2日・16日

※その他、法律相談もあります。

編集後記

広報委員と事務局が当たり前のように集まることが出来て編集作業に入り、「社協だより」が無事発行されていくことに改めて感謝感謝。広報委員として、初心を忘れず、情報を正しく、わかりやすく皆様のもとへ届くよう心がけていきたいと思っています。（石郷岡）

コロナに負けるな！

ひとり親世帯等へ 社協版KASAMABOXを支給します

対象者

市内在住で次のいずれかに該当する世帯。

① 18歳までの子を養育するひとり親世帯。
② 18歳までの子を養育する祖父母世帯。
③ 18歳までの子を養育するふたり親世帯で、両親のどちらかに障がい者がいる世帯。

内　容：1世帯　新米5kg、日用品など
期　間：10月1日～12月28日
申込先：社会福祉協議会
その他：児童扶養手当受給世帯には、笠間市からの「児童扶養手当現況届」にチラシを同封させていただきます。

茨城県共同募金会地域福祉特別助成金を活用します。